



HDX OPEN クラストップ総合4位の
TR+ ブナン+水曜レーシング!



HDX KT100クラス表彰式。優勝は初参戦の大谷レーシング、2位はY's Racing Club



2017 文部科学大臣杯 JAPAN KART CUP
with HDX シリーズ第4戦
開催コース/筑波サーキット (茨城県)
主催/日本スーパーカート協会
開催日/8月27日 天候/晴れ 路面状況/ドライ

文部科学大臣杯 JAPAN KART CUP with HDX シリーズ第4戦



コースに持ち込むとベテラン選手が懐かしく見に来るといふシャシーでチャレンジした大谷 R.



総合でも4位に入った OPEN の TR+ ブナン。SC カー時のピットインに失敗したのが反省点



マシンが好調で気持ち良く走れたという Y's Racing Club 岡本義晴。1 時間を 1 人で走破



夏の名残を残しつつも、どこか秋の雰囲気がある筑波で開催されたシリーズ第4戦

8月最後の週末に開催されたシリーズ第4戦。初秋に入った筑波サーキットだが、まだ真夏を感じさせる太陽が強烈に照りつけた。しかし、吹き抜ける風はどこか秋の匂いを帯びた爽やかなものでもあった。

さて、ほぼオンタイムの10時30分にスタートが切られた決勝。ホールショットを決めたのはPPのTR+ブナン+水曜レーシング!だ。こちらは2人体制のチームで、地元、埼玉県のカートコースで知り合ってから10年来の仲だという。今回はニューアイテムとしてフロントブレーキを初投入しての参戦となった。

一方、初参加となったのがKT100クラスの大谷レーシングで、20年以上も前のヤマハシャシーで挑戦。当初は1位が目標だったが、整備を進めるうちに完走へと変更したようだ。

KT100クラスには常連選手のY's Racing Club 岡本義晴も参戦。この両チームは、終始バトルを繰り広げつつ周回を重ね、49週の同一周回数でフィニッシュ。大谷レーシングが僅かに勝利、KT100クラスでの優勝を手にした。